学校番号	3002

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　生物（啓林館）						
副教材等	エッセンスノート　生物　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の予習・復習を大切にしなさい。自然現象や日常生活で利用されている科学は基礎的な理論やしくみで成り立っています。よってそれらを理解するためには、基本的な知識の積み重ねが大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基礎の内容から発展的な内容も行い、知識の定着を図るとともに、学習した内容を科学的な視点をもって論理的に考える能力を向上させる。【思考力、判断力、表現力等】
様々な自然現象を生物の観点から解明し、論理的に説明できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
生物的な現象に興味を持ち、自ら学ぶ姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物に関する基本的な現象や用語を正しく理解する。また科学的な用語を正しく用いて、生物や生物現象を科学的理論に基づいて説明できるようになる。	様々な現象を科学的観点から分析し、考察することができる。データや資料に基づいて、それらが表すものを科学的に捉えるとともに、論理的に説明できるようになる。	生物と身近な生活に興味を持ち、授業に積極的に参加する姿勢を身につける。様々な自然現象を科学の観点から理解し説明できるようになる。日常生活や農業で応用されている生物のはたらきとその仕組みを調べ、理解する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物の進化	生物の進化 有性生殖と遺伝的多様性 進化のしくみ 生物の系統	a:　:生物の共通性について理解し進化についての知識を身につけている。 b:　地球に存在する多様な生物にみられる共通性とその違いについて思考し、自ら筋道を立てて表現できる。 c:　地球上に存在する多様な生物や身の回りの身近な動植物に興味を持ち、意欲的に探求しようとする。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート
	遺伝情報の発現と発生	DNA の複製・転写・翻訳 遺伝子発現の調節 動物の発生 形態形成と誘導、細胞死 発生と遺伝子発現 バイオテクノロジー	a:　遺伝子の働きや遺伝情報の分配や複製を通して個体が作られるまでの過程に関する知識を身につけている。 動物の発生についてのしくみを理解している。 b:　観察、実験などを通して探求し、DNA と生命現象のかかわりを適切に表現できる。 c:　遺伝現象と DNA に興味を持ち、遺伝情報の発見に関する資料に基づいて、近年のバイオテクノロジーを踏まえて、DNA の塩基配列やタンパク質のアミノ酸の関係を見出して意欲的に探求しようとする。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート

2	生命現象と物質	物質と細胞 生命現象とタンパク質 代謝とエネルギー 光合成	a:細胞の基本的な構造や生命を維持するうえで重要なエネルギーとタンパク質の働きを理解している。 b:代謝について動物・植物での共通点を理解し表現できる。 c:動物・植物における生命現象の違いなどを積極的に探究しようとする。			
	生物の環境応答	刺激の受容と反応 神経 神経系 効果器 動物の行動 植物の生殖と発生 植物の発芽と成長	a:神経系と刺激の受容について基本的な知識を身につけている。 動物の行動についての知識を身につけている。 植物の発生についての知識を身につけている。 b:動物と植物の刺激の受容や反応における違いを説明できる。 c:動物と植物での刺激への反応における違いや共通点を探求しようとする。			
3	生態と環境	個体群とその変動 種内関係 種間関係 生態系と物質生産 生態系と人間生活	a: 生態系を構成するさまざまな個体群のかかわりと変動、同種間・異種間のかかわりについての知識を身につけている。 b:資料に基づいて、生物どうしのかかわりを関連付けて理解し、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現できる。 c:生態系と生物の多様性の関わりについて考え、生態系のバランスと人間生活の影響について探求しようとしている。	定期考査	定期考査 授業ノート	授業ノート
			a: b: c:			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度